

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第 58 号

企画展 文化財案内板でめぐる宮代町

宮代町郷土資料館では、平成 29 年 7 月 15 日（土）から 10 月 22 日（日）まで、企画展「文化財案内板で巡る宮代町」を開催します。この展示会は町内で 8 ルートを設定し、文化財案内板を利用し町内の文化財をめぐる展示です。実際の文化財めぐりでは見ることができない発掘された遺物や獅子頭などもこの展示会で見ることができます。ルートは和戸駅周辺で 3 コース、東武動物公園駅周辺で 2 コース、姫宮駅周辺で 2 コース、町内の鎌倉街道で 1 コースの計 8 コースです。



中通りの鎌倉街道

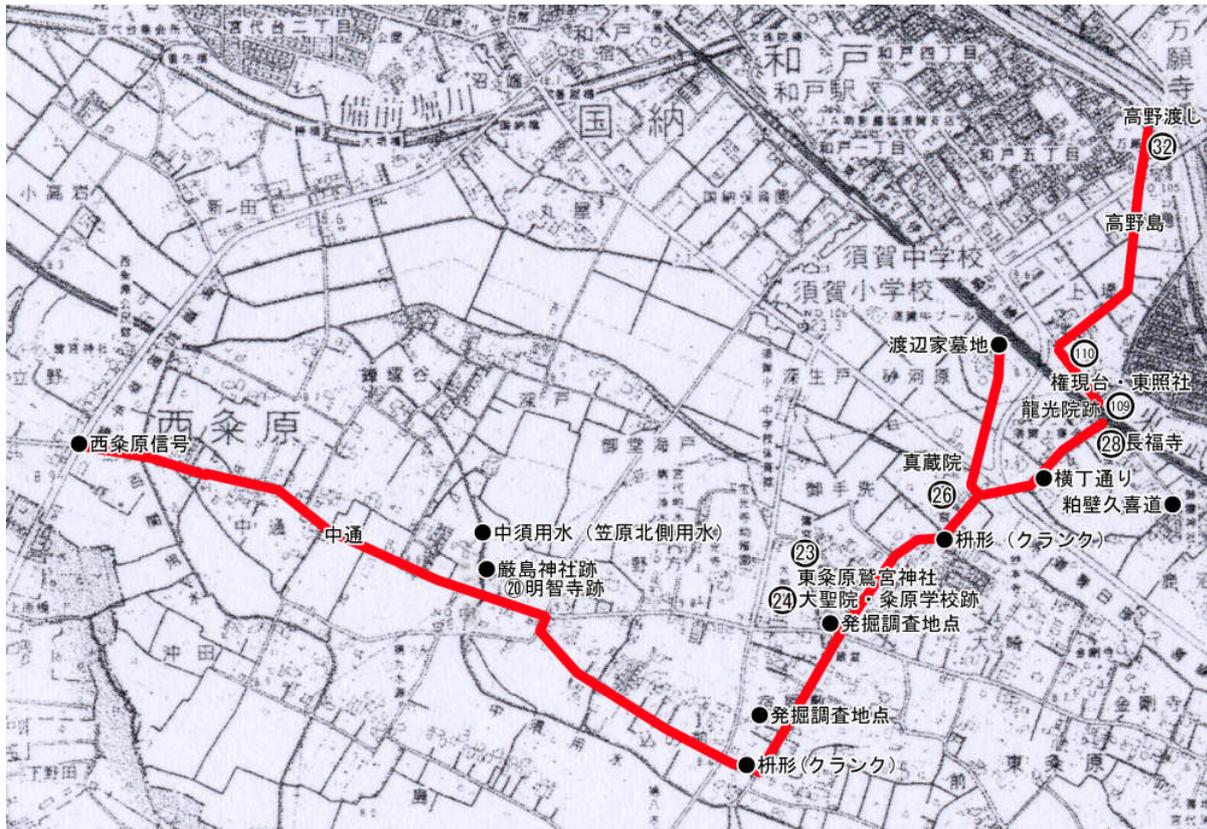
鎌倉街道は鎌倉時代に地方の御家人が鎌倉へ馳せ参じるため造られたと考えられています。有名なものとしては、町田市や毛呂山町、嵐山

町を通る鎌倉街道上道がありますが、宮代町にも鎌倉街道中道が通っています。鎌倉から東京特別区の西部を通り、川口、岩槻、白岡市太田新井・上野田・高岩、宮代町西条原・東条原・須賀、杉戸町下高野・下野、幸手市上高野・幸手、五霞町元栗橋、小山、宇都宮、東北地方に続くルートです。

宮代町の鎌倉街道は西条原信号を過ぎると中通と呼ばれる道路です。百間用水を越え、中須用水を過ぎた庚申塔のある交差点を右折し、更に左折すると東条原塚ノ前の集落です。この道も鎌倉街道と伝わります。爪田ヶ谷へ行く道路を渡るとクランクがあります。宿場の入口や出口には枡形と呼ばれるクランクがありますの



宿屋敷の入口の枡形（クランク）



でここからが宿屋敷と呼ばれる中世条原宿と推定されます。

宿屋敷では2か所で発掘調査が行われました。中世の工房や倉庫といわれる方形竪穴遺構や井戸などの中世集落の一部が発掘されました。この他、堀割状や硬化面のある鎌倉街道の一部も発掘されています。室町時代の「市場之祭文」と呼ばれる古文書には条原に市場が立ったことが記載されていますので、東条原鷲宮神社の門前が条原市場であったのかもしれませんが。

鎌倉街道を北上すると条原と須賀との境に



発掘された鎌倉街道



あぜ道状の鎌倉街道

もクランクがあります。ここまでが条原宿であったのでしょうか。須賀の真蔵院で東西にルートが分かれます。西側のルートは渡辺家墓地までです。東側のルートは横丁通りと呼ばれ、長福寺までは残っています。東武鉄道ができる前まではここから粕壁久喜道に合流しました。ここが権現台で、加藤家墓地付近には徳川家康を祀った東照社がありました。ここを過ぎた丁字路を右折するとあぜ道状の鎌倉街道が現代に残っています。万願寺橋の上流約100mの場所で大正時代に橋杭が発見されていますので、そこで古利根川を越えていたと推定されます。

開催しました

企画展「古文書に見る人々の暮らし2 寺社参詣」

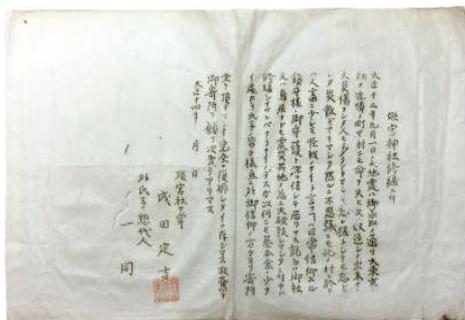
郷土資料館では、平成29年5月13日（土）から7月9日（日）までの期間、企画展「古文書に見る人々の暮らし2 寺社参詣」を開催しました。

この展示は、資料館に収蔵している多くの古文書の中から、「人々の暮らし」を知ることのできる古文書を紹介するものです。今回は「寺社参詣」をテーマに、私たちの身近にある神社や寺院などに関係する古文書を紹介しました。

1) 地域の寺社を守る

江戸時代の人々は、家単位に1つの寺院の檀家となり、その寺院に墓をつくるようにされました。寺院は檀家から檀那寺と呼ばれ、先祖代々の墓を管理し、葬式や法事などをおこなう役割のほか、檀家の戸籍である宗門人別改帳を管理することで、その檀家がキリシタンや禁制宗派の信徒ではないことを証明する役割がありました。檀家と檀那寺のかかわりには深いものがあつたのです。

また、地域を守る神としての神社も大切な存在でした。人生儀礼や日々を過ごす中において、神社とのかかわりにも深いものがありました。そして、日本においては仏教伝来の過程において日本古来の神々と仏教の仏たちが結びついたことにより、人々の生活の中において仏と神は大切な存在として守ってきたのでした。



「姫宮神社修繕寄附願」
大正14年（1925）12月

2) 幸せを祈願して

八百万の神々がいるとされる日本では、水、風、雨、雷など森羅万象それぞれに神々がいるために、何かを祈願したいときにはその内容に関する神に対しておこなうこととなります。例えば、稲作で雨が降って欲しいときには雨を降らせるのが得意な神に、嵐や雷が来ないで欲しいときには嵐除けや雷除けの得意な神に祈願します。そういった神々は、す

べてが地元にいるとは限らないことから、人々はそれぞれの神々を求めて遠方の神社に足を運び参詣するのです。こうしたご利益は神社に限ったことではなく、寺院においても仏の持つ功德がそれぞれであることから、さまざまな寺院を参詣することになるのです。



「雷電宮本社棟上祭につき案内状」
（天保6年）卯年（1836）正月

3) 御利益を求めて霊場を巡る

社会制度上、住んでいる場所から自由に離れることが難しかった江戸時代でしたが、寺社参詣と湯治の旅だけは許されました。そのために農閑期には寺社参詣を理由に旅に出る人もいて、古文書にはそういった旅に関係するものも残されています。ここでは有名な観光地のひとつである日光に関する資料を中心に、昔の人が訪ねた霊場を巡る旅について紹介しました。



「日光山諸所案内手引草 全」より
天保11年（1840）2月

4) 惣七さんの旅日記『文久2年 鹿嶋道中日記手控帳』

文久2年2月20日、須賀村の惣七さんは鹿嶋神宮参詣を目的とした旅にでます。途中、有名な寺院・仏閣に参詣をしながら鹿嶋神宮を目指しました。鹿嶋神宮参詣を無事に済ますと帰路につきますが、選んだコースは房総半島一周というルートでした。鹿嶋神宮までの道のりは、圏央道が整備された現在、宮代町から日帰りでも行ける場所となっています。惣七さんが目にした風景を訪ねていただくのも一興と、主だった場所についてはパネルで紹介しました。

寺社参拝のご縁をつないだ証の「御朱印」をいただきながら、訪ねてみるのはいかがでしょうか。

「御朱印帳づくり体験講座」を開催しました！

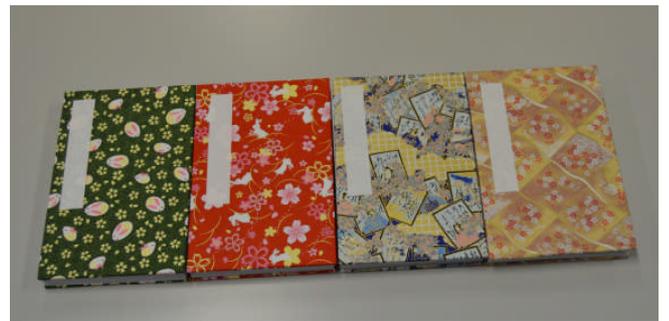
企画展「古文書に見る人々の暮らし2 寺社参詣」の関連講座として開催された「御朱印帳づくり体験講座」は郷土資料館では久しぶりとなる大人向けの体験講座となりました。6月23日(金)、7月1日(土)の計2回行われました。世界にひとつだけのオリジナル御朱印帳を作る講座という事で、現在御朱印帳巡りをしている方、これから始めようと考えている方など多くの参加者が集まりました。参加者は皆さん女性の方で、巷で聞かれるようになっている「御朱印ガール」の皆さんが集まったと言えるでしょう。

御朱印帳には「紐とじ式」と「蛇腹式」の2種類ありますが、今回の講座では「蛇腹式」のものを作成しました。一枚の紙を折りたたむのではなく、複数の紙を糊づけして作ります。

参加者同士で御朱印の話に盛り上がりながらも、き

れいな仕上がりになるように、熱心に取り組んでいました。どなたも素敵な御朱印帳を作られました。

参加された方の中には「作った日付が入った御朱印をいただきたいので、早速寺社の参詣に向かう」、「宮代町で作ったので、最初は町内の寺社で御朱印をいただきたい」とお話しされた方もいらっしゃいました。



完成した御朱印帳

資料館日誌抄

- 3月23日 春日部市さくら物語団体見学(7名)
- 4月16日 「デジタル郷土資料で郷土史を学ぼう!第4回江戸時代II~絵図の世界~」職員派遣(38名)
- 4月19日まで 旧加藤家住宅で季節展「ひな人形」展示
- 4月19日 旧加藤家住宅で季節展「五月人形」開始
~6月9日
- 5月2日 百間小学校1年生西原自然の森校外活動(68名)
- 5月13日 企画展「古文書に見る人々の暮らし2 寺社参詣」開催
~7月9日
- 5月14日 「デジタル郷土資料で郷土史を学ぼう!第5回江戸時代III~街道と旅日記~」職員派遣(45名)
- 5月24日 百間小学校2年生「春の町探検」見学(4名)
- 5月27日 川端2区健康ウォーキング団体見学(32名)
- 6月1日 宮代特別支援学校中学部団体見学(14名)
- 6月6日・7日 百間中学校2年生職場体験学習(2名)
- 6月7日 姫宮神社遺跡試掘調査
- 6月9日 東遺跡試掘調査
- 6月17日 春日部元町町会団体見学(16名)
- 6月18日 「デジタル郷土資料で郷土史を学ぼう!第6回幕末から明治時代~俳諧結社多少庵と明治の文化~」職員派遣(50名)

- 6月18日 ボーイスカウト春日部団体見学(17名)
- 6月23日 企画展関連講座「御朱印帳づくり体験講座」開催(7名)
- 6月28日 第1回文化財保護委員会
- 6月28日 西光院遺跡試掘調査
- 6月29日・30日 須賀中学校2年生職場体験学習(3名)
- 6月30日 道仏上遺跡試掘調査
- 7月1日 企画展関連講座「御朱印帳づくり体験講座」開催(10名)

資料館寄贈者名簿 (敬称略)

石橋淑子(民具・古文書)、篠原義明(古銭)
森田宗助(堰板)

宮代町郷土資料館だより えんがわ 第58号

発行日 平成29年7月1日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.lg.jp>